



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			2月23日	2月24日	3月1日	3月2日	3月3日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.0630	3.1100	3.0940	3.1530	3.1160	-0.0370
	BRL/JPY	Spot	36.79	36.03	36.74	36.27	36.55	+0.28
	EUR/USD	Spot	1.0584	1.0558	1.0546	1.0507	1.06	+0.0109
	USD/JPY	Spot	112.70	112.08	113.67	114.36	113.91	-0.45
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	10.98	10.92	10.89	10.95	10.89	-0.0616
	Future	1Year(p.a.)	10.16	10.17	10.12	10.16	10.05	-0.1034
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.993	2.003	2.063	2.052	2.038	-0.014
	USD	1Year(p.a.)	2.188	2.198	2.229	2.262	2.259	-0.003
株式	Bovespa指数		67,461.38	66,662.13	66,988.88	65,854.93	66,785.53	+930.60
CDS	CDS Brazil 5y		220.02	222.18	222.18	221.83	218.38	-3.45
商品	CRB指数		191.634	190.931	191.269	188.812	189.72	+0.903

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは2月初め以来となる3.16台へ下落後、3.11台へ戻す展開。
- カーニバルによる祝日で1日後場からの取引となった今週のレアルは3.1100で寄り付いた。前日の米トランプ大統領による議会演説を受けてインフラ投資への期待から資源国通貨が強含む中、レアルは週間の高値となる3.0920まで上昇。その後、米金融政策を巡ってFRB関係者から早期利上げに前向きな発言が相次いだことでドルが主要通貨に対して買われる中、ブラジルの金融政策については先週開催されたCOPOMの議事録がハト派な内容だったことでレアルは下落。一時週間の安値となる3.1610まで売られた。週末にかけてはイエレンFRB議長の講演で米国の利上げペース加速が示唆されなかつことでドルが上げ幅を縮小、レアルは結局3.1160で越週となつた。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.48%で据え置き、2018年は2.30%から2.37%へ上方修正された。インフレ率予想は2017年が4.43%から4.36%へ下方修正、2018年予想は4.50%に据え置かれた。予想為替レートは2017年末が3.30、2018年末が3.40でともに据え置かれた。
- 2日に公表されたCOPOM議事録(2月21、22日開催分)ではインフレ予測と景気停滞から金融緩和サイクルの前倒しに言及。市場では想定よりもハト派の内容と捉えられた。
- 今週は複数のFRB関係者から早期の利上げ示唆された。利上げに最も消極的と見られていたブレイナード理事は1日、国内外の経済に前向きな見解を示した上で早期の利上げが適切となる可能性に言及した。
- 米トランプ大統領は28日の議会演説で1兆ドルのインフラ投資や税制改革について発言。政策の具体性に欠けた一方、穏やかで冷静な演説ぶりは評価され無難な結果となつた。

3.今週のチャート&ハイライト



3月FOMCでの米利上げ観測が急上昇

米金融政策について次回FOMC(3月14、15日)での利上げ観測が急速に高まっている。ダウ平均が最高値を更新、景気拡大への期待が高まる中で今週はニューヨーク連銀のダドリー総裁をはじめ複数のFRB高官が早期利上げに前向きな発言を実施。金利先物市場が織り込む次回会での利上げの確率は先週末から3日にかけて40%から94%まで急上昇した。米2年債利回りは週間で約16bps上昇し、1.3%を超えて2009年8月以来の水準となっている。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.05–3.15

来週のレアルは3.1近辺での底堅い動きを予想。今週は米金融政策への思惑を材料にレアルはドルに対して下げる場面が見られた。次回FOMCでの利上げがほぼ確実と市場で織り込まれた状況下、一旦はドル買いの勢いが緩むことで高金利のレアルは堅調を取り戻す動きが想定される。米国では10日の雇用統計に注目。また中国では5日から全人代が開催され成長率の政府目標が発表される。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE消費者物価指数(月次)	-0.02%	-0.08%	0.32%
ブラジル	登録雇用創出合計	-36000	-40864	-462366
米	マーキット米国サービス業PMI	54.0	53.8	53.9
米	マーキット米国コンポジットPMI	--	54.1	54.3
米	ISM非製造業景況指数(総合)	56.5	57.6	56.5

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	3/6	マーキット・ブルジルPMIコンポジット	Feb	--	44.7
ブラジル	3/6	マーキット・ブルジルPMIサービス業	Feb	--	45.1
ブラジル	3/6	貿易収支(週次)	Mar 5	--	--
ブラジル	3/7	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	Apr	5.21%	6.02%
ブラジル	3/7	PPI 製造業(前月比)	Jan	--	0.70%
ブラジル	3/7	GDP(前期比)	4Q	-0.60%	-0.80%
ブラジル	3/7	自動車生産台数(伯自工会)	Feb	--	174064
ブラジル	3/7	自動車販売台数(伯自工会)	Feb	--	147219
ブラジル	3/7	自動車輸出(伯自工会)	Feb	--	37189
ブラジル	3/8	FGV CPI IPC-S	Mar 7	0.36%	0.31%
ブラジル	3/8	鉱工業生産(前月比)	Jan	0.30%	2.30%
ブラジル	3/9	IGP-M Inflation 1st Preview	Mar	--	0.001
ブラジル	3/10	FIPE CPI-週次	Mar 7	--	-0.1%
ブラジル	3/10	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Feb	4.9%	5.4%
米	3/10	非農業部門雇用者数変化	Feb	185k	227k

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身で判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。